

平成 30 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰実施要領

1. 目的

地球温暖化の防止に関し顕著な功績のあった個人又は団体(自治体、企業、NPO/NGO、学校等。共同実施も含む。以下同じ。)に対し、その功績をたたえるため、表彰を行う。

2. 表彰者

環境大臣が表彰する。

3. 対象部門

表彰の対象とする功績は下記の 5 部門とする。

① 技術開発・製品化部門

エルツー テック
L 2-Tech (先導的低炭素技術) ※、省エネ技術、新エネ技術、省エネ製品、省エネ建築のデザイン等、温室効果ガスの排出を低減する優れた技術の開発によりその製品化を進めたこと(商品化されていないものを含む。)に関する功績。

② 対策技術先進導入部門

コージェネレーション、ヒートポンプ、新エネ製品、省エネ製品、省エネ型新交通システム、省エネ建物等、温室効果ガスの排出を低減する技術や製品の大量導入・先導的導入に関する功績。

③ 対策活動実践・普及部門

地球温暖化防止に資するライフスタイル実践・普及活動、地域における効果的な節電に関する実践・普及活動、植林活動等、地球温暖化を防止する活動の実践・普及等継続的な取組(活動実績が概ね 5 年以上の継続性を有すること。または、過去の実績は短期間でも将来、持続的な発展が期待される活動であること。)に関する功績。

④ 環境教育活動部門

地球温暖化について教育資料の開発、情報の提供、学校や市民、企業内における教育活動や普及・啓発等継続的な取組(活動実績が概ね 5 年以上の継続性を有すること。または、過去の実績は短期間でも将来、持続的な発展が期待される活動であること。)に関する功績。

⑤ 国際貢献部門

地球温暖化防止に資する技術移転・指導、教育普及活動、国際会議での貢献、海外での植林等、国際的な地球温暖化防止対策活動に関する功績。

エルツー テック
※L 2-Techとは、Leading and Low-carbon Technologyとして、平成 26 年 3 月に環境大臣が打ち出した概念。特に先導的な低炭素技術であって、今後の導入普及によって社会全体で大幅な省エネ(CO2 排出削減)を実施することが見込まれるもの。

4. 対象者

3. の各部門における顕著な功績のあった個人又は団体及び上記の活動において連携や支援を行っている個人や団体を表彰対象とする。また、表彰対象者は、原則として日本に在住する者又は組織の拠点を日本国内に置く団体に限る。

ただし、応募申請内容と同一の活動あるいは功績により、過去に地球温暖化防止に関する環境大臣表彰を受けているものは表彰の対象としない。

また、応募者が法令違反の容疑により逮捕され、又は逮捕を経ないで公訴を提起された場合などの不正又は不誠実な行為があった場合は表彰の対象としないことがある。

5. 募集方法

各種広報媒体により公募するとともに、自薦及び他薦（地方自治体、団体等からの推薦）による。

6. 選考基準等

① 部門共通の選考基準

評価項目	基準
貢献度	大量の温室効果ガス排出削減、市民の行動変容による大きな節電効果など、地球温暖化防止に具体的な効果を示し、貢献していること。
波及性	製品や活動を通して、ベストプラクティスとしての率先行動の意義が大きく、低炭素社会への新たなライフスタイル変革への波及効果が期待できること。
持続性	一過性のイベントや活動ではなく、持続可能な仕組みを確立しており、活動の持続的な発展が期待できること。

② 部門別の選考の観点（自己評価記入にあたっての記入例）

対象部門	観点
技術開発・製品化部門	この技術の開発によって生み出された製品により、CO2等の温室効果ガスが従来の技術・製品に比してどれだけ削減されるか。 (例：従来機器比○%使用電力削減、CO2を年間△トﾝ削減)
対策技術先進導入部門	対策技術の先進的な導入によって、導入から、いままでに温室効果ガスがどれだけ削減できたか。導入した技術・設備をどのように活用してきたか。 (例：CO2排出量○%削減、CO2を年間△トﾝ削減)
対策活動実践・普及部門 ／ 環境教育活動部門 (共通)	具体的にどのような人たちに何年間、どのような活動内容を行い、どのような効果があったか。今後どのように活動を展開する予定か。 (例：△年にわたって、延べ○人が活動に参加し、△%の節電効果があり、×kgのCO2削減) 社会に対してどのような効果が期待でき、どのような方法で地域に貢献したか。また、その実績はどの程度か。 (例：学校周辺地域の○○などの主体と連携し、△回の地域の指導者育成を行い、持続可能な仕組みをつくった。)
国際貢献部門	どのような国や地域に対し、どのような人たちと何年間、どのような活動を行い、どのような効果があったか。 (例：○○国において、××人に対し、△△を行った。)

7. 申請方法及び締切

応募の申請は所定の様式に必要な事項を記入し、平成 30 年 8 月 1 日（水）（必着）までに下記事務局に郵送すること。なお、様式の電子ファイルについても併せて電子メールに添付して送付すること（書類及び電子ファイルともに必着）。

※応募の申請方法に関して不明な点は、下記事務局に問い合わせること。

なお、申請様式は、環境省ホームページ（<http://www.env.go.jp/>）の「平成 30 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰の募集について」の報道発表資料からダウンロードすること。

8. 選定方法

地球温暖化防止活動環境大臣表彰選考委員会による審査を経て環境大臣が決定する。

9. 表彰方法

表彰状及び記念品を授与するとともに、受賞標章の使用を認める。

10. 受賞者の公表及び表彰時期

受賞者の公表は平成 30 年 11 月下旬頃を予定する。

また、表彰式は平成 30 年 12 月上旬頃に予定する。

11. 結果の通知

結果については、11 月下旬頃の受賞者に係る報道発表資料を環境省ホームページ（<http://www.env.go.jp/>）に掲載するほか、応募者には下記事務局から採択・不採択通知を送付する。なお、審査経過に係る問合せ、審査結果等に対する異議申立てについては受け付けない。また、申請書類は、一切返却しない。

12. 事務局

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-12-3 第一アマイビル 4F

TEL : 03-6273-7785 FAX : 03-5280-8100 E-mail : daijin-hyosyo@jccca.org

以上